

## 会議の概要

---

### ■ 議事

- 令和4年度教員採用候補者選考について
- 令和3年度教職員研修計画について
- 養成・採用段階における人材育成の現状と課題について

### ■ 概要

- 令和4年度教員採用候補者選考について
  - ・ 令和3年度教員採用選考候補者選考の結果、小学校、また、希少科目である中学校技術、中高家庭科、中高美術などの受験者数確保が課題となっている。
  - ・ いわゆる未配置問題解消などを含め、資質・能力を有した志の高い人材の採用と志願者数の拡大が喫緊の課題であることを踏まえ、新卒者、県内外の講師経験者、現職者及び元職者がより受験しやすい選考方法に改善し、安定的に一定の質を担保しながら教員数を確保することを実現するための見直しを行う。
- 令和3年度教職員研修計画について
  - ・ 令和3年度に実施する研修事業として、ICTを活用した研修の実施や県の喫緊の課題でもある学力向上につなげる授業づくりを中心とした教科等に関する研修、子供の命を守る防災に関わる知識・技能の向上に向けた研修の充実を図る。
  - ・ 受講管理システムの運用開始に向け、ヘルプデスクを設置するほか、従来どおりの紙での申し込みもバックアップとして用意するなど、サポート体制に万全を期す。
  - ・ ICTに関しては、GIGAスクール構想の下、1人1台の端末が整備され、今後はどのように授業に活かし、子供たちの力を伸ばしていくかというところが問われてくる。来年度が初年度になることを踏まえ、関係機関の意見を聞きながら進めていく必要がある。
- 養成・採用段階における人材育成の現状と課題について
  - ・ 教員の大量退職に伴う採用数の増が、今後も中長期的に続くことが見込まれる中、教員の質を維持し、子供たちへよりよい学びを提供するため、大学など関係機関と共に教職に関する魅力を県内外に発信し、受験者増につなげるとともに、養成段階から資質能力の向上を図る取組を充実させる必要がある。
  - ・ 小中教員免許の併有や技術や家庭等の希少教科の免許取得促進のほか、教員不足の解消に資するよう、複数免許を取得できる科目の開設及び拡充について、各大学と継続的に協議を行っていく。
  - ・ 社会人が短期間で免許を取得できるコースの開設が、教員不足及び年齢構成の偏りの解決策の一つになるものと考えられることから、関係大学と実現に向けた協議を行っていく。